

# 会 議 録

会議の名称	令和5年 第8回 白岡市教育委員会定例会										
開催日	令和5年6月15日(木)										
開催時間	午前9時30分 開会 ・ 午前11時43分 閉会										
開催場所	白岡市役所 4階 特別会議室1、2										
教育長の氏名	横 松 伸 二										
出席者(委員等)の氏名	横 松 伸 二 山 崎 美佐江 和 田 玲 子 小野目 如 快 福 永 肇										
欠席者(委員)の氏名											
説明員の職・氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育部長</td> <td style="width: 50%;">阿 部 千鶴子</td> </tr> <tr> <td>教育総務課長</td> <td>高 垣 秀 樹</td> </tr> <tr> <td>参事兼教育指導課長</td> <td>小 林 大 輔</td> </tr> <tr> <td>教育部付副参事</td> <td>加 藤 靖</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>大久保 秀 樹</td> </tr> </table>	教育部長	阿 部 千鶴子	教育総務課長	高 垣 秀 樹	参事兼教育指導課長	小 林 大 輔	教育部付副参事	加 藤 靖	生涯学習課長	大久保 秀 樹
教育部長	阿 部 千鶴子										
教育総務課長	高 垣 秀 樹										
参事兼教育指導課長	小 林 大 輔										
教育部付副参事	加 藤 靖										
生涯学習課長	大久保 秀 樹										
事務局職員の職・氏名	教育総務課主査 山田 真規子										
点検評価員	吉野 高男          田中 裕子										
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 委任事務等報告事項 4 日程第3 その他の事項 5 閉会										
配布資料	別添のとおり										
傍聴者数	1人										

## 1 開 会

横松教育長

出席委員 5 名、定足数に達しており開会を宣言した。

委任事務等報告事項第 7 いじめ重大事態に係る調査報告書については、報告書が提出されていないため、本日の会議では審議しないこととした。

## 2 会議録署名委員の指名

横松教育長

市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、山崎美佐江委員及び福永肇委員を指名した。

## 3 委任事務等報告事項（教育長報告）

横松教育長

委任事務等報告事項第 1 及び第 2 は個人情報を含む内容であるため、非公開で行いたいが如何か。

委 員

（異議なし）

横松教育長

異議なしと認め、報告事項 1 及び 2 については非公開で行う。また、審議の順番を公開案件からとする。

### 第 3 6 月議会定例会の一般質問について

【説 明】 （報告第 3 について、教育部長が資料に基づき説明した。）

#### 【質疑応答概要】

A 委員

学校の校則を決めているのは誰か。

参事兼教育指導課長

校則は各学校長が定める。白岡市立の小・中学校には管理規則、服務規程が定められており、これをもとに各校が定めているものである。

A 委員

中学校指定の靴を白いものとするなどのルールは、校長が決定すれば替えられるのか。

参事兼教育指導課長

靴については、規則、服務規程で定めているものではないが、中学校の指定靴を白としているのは、遠くから目立つといった安全上の理由もある。ただし、生徒からの要望も出ているとのことであるし、生徒が校則を自分事として捉え、意見要望して変えていくといったことも生徒指導提要にはあり、適切に進められるよう教育委員会としては見ていきたい。

B 委員

中山議員の一般質問にあったことだが、不登校の子の支援について、久喜市等の先進事例から良い点、苦慮した点

等を学び、広めていただきたい。当市でもオンラインによる体制が整ったからこそ、このような要望も出てきたのであろう。また、不登校の子供の家庭状況の把握等も、実際に訪問しなくとも、しやすくなると思うものの、かえって教員の負担が増えるなどのこともあると思う。また、教科によっては適さないこともあると思う。ぜひ、先進事例から良く学び、使用方法は今後模索して行ってほしい。

参事兼教育指導課長 久喜市等の先進事例を参考にしていきたい。また、文部科学省から端末を利用した不登校の子への授業や教育相談については、使用事例が示されている。

A 委員 オンラインのシステムが整うことにより、教員が保護者からの要望等に24時間対応することになってしまうことが考えられる。気を付けていただきたい。また、システム導入当初は、使用する職員の負担が大きくなる。導入後すぐにはうまくいかないものだ。想定外の仕事も出てくる。使う者のケアも必要だ。

参事兼教育指導課長 校務支援システムは導入したら毎日使用することとなるので、慣れるのは早いと思う、苦手な方には業者にサポートに入ってもらう。来年度以降はヘルプデスクを設けるなどの対応をしたい。

C 委員 地域部活動について、白岡は先進的な取組を行っていたと思う。永続的な取組だと思っていたが、これまでもクラウドファンディングを利用して、予算を捻出していた。今後も毎年、事業予算の財源について考えていかなければならないのか。

参事兼教育指導課長 財源について、埼玉県に補助金を申請し、交付を受けており、一定の金額が交付されるものではない。補助金もいつまで交付されるかわからない。保護者に対し受益者負担を考えていかなければならない。しかしながら受益者負担のみで事業を運営していくことは難しいだろう。そういったなかで、クラウドファンディングも考えていく。

C 委員 地域部活動は新しい取組だ。軌道に乗ってほしい。金融教育についてだが、キャッシュレス化がすすみ、子どもがお金を目にするのが少なくなり、その金銭感覚に危機感を感じている。金融教育はおこなっているのか。

参事兼教育指導課長 必要な教育だと思う。お金とのかかわりは発達段階で異

なる。低学年にはお小遣い帳、中学、高校生で消費者金融を教える等、発達段階に応じた教育が重要である。学校にも適切に行うよう周知したい。

#### D 委員

I P a dの使い方については、子どもへの影響を考えてしまう。対面とオンラインとでは、脳への刺激が違う。オンラインは一見便利ではあるが、不登校の子は心の問題を抱えていたりするので、これに頼り切ってしまうのは疑問に思うところである。

英語教育については、外国の方に接する機会は少ないので、このことをきっかけに外国に興味を持てるなどの大切な機会だと思う。まずはコミュニケーションが大切なのではないか。理想を追い求めすぎるとかえって視野を狭めてしまうところもある。

小規模特認校については、大山小学校の豊かな自然に囲まれた環境に意味がある。それを生かすことが大切だと思う。それにより人間性も育まれる。小規模であるため一人一人が主役になれる。そういったなかで、自己肯定感も生まれると思う。

学校教育に議員が色々と興味を持っていただいている。ぜひ、学校の中に入って現状を見ていただきたいと感じた。

#### 参事兼教育指導課長

I P a dについて、オンラインであっても不登校の子に何かのリアクションを求めると拒否があることもある。アバター利用や文字によるコミュニケーション等工夫していきたい。ズーム会議はモチベーションが下がる場合もある。対面の重要性も認識している。英語については、委員がおっしゃるとおり、子どもたちが実際に外国の方とコミュニケーションをとっていることが非常に重要であると考えている。

小規模特認校については、大山小学校の環境だからこそ得られる人間性があると考えている。

議員と学校は、直接のやり取りを行い議員が訪問していることもある。学校には、議員から要望があれば協力していただきたいと伝えている。

#### A 委員

オンラインと対面では教育効果が全然違う。教育の基本は対面授業であると考えます。

金融教育は家庭科で教えるのか。金融庁がホームページ

に中・高校生向けに教材を公開しているのので、参考にしたらどうか。

また、教育は二者択一ではなく、広い大きな目で見たいものだ。

白岡にいる外国籍の子どもに対する課題はあるのか。

参事兼教育指導課長 小・中学校では、家庭科や総合的な学習の時間等で金融教育を行っている。子どもの発達段階に合わせた様々な金融教育を行っている。

外国籍の子どもについて、低学年は友人との遊びの中で言葉などを身に着けていく。教育委員会は日本語指導の会計年度任用職員の配置等のサポートを行っている。

A 委員 外国籍の子の人数は多いのか。

参事兼教育指導課長 各学校に全体的に在籍している。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

#### 第4 白岡市小・中学校就学支援委員会委員の委嘱について

【説明】 (報告第4について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

#### 第5 令和5年度白岡市立菁莪小学校放課後子ども教室コーディネーターの委嘱について

#### 第6 令和5年度白岡市立大山小学校放課後子ども教室コーディネーターの委嘱について

【説明】 (報告第5及び第6について、教育部長が概要説明を行い、生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員 委嘱期間が6月9日からとなっている。なぜか。

生涯学習課長 毎年任用するものであり、事業開始に合わせたものである。なお、各学校における事業期間は菁莪小が7月13日から3月12日までの16回、大山小が7月10日から3月14日までの12回である。

B 委員 コーディネーターは、自分から応募していただいた方なのか。選定の経緯を教えてください。

生涯学習課長 昨年度もお願いしていた方たちであり、引き続きお願い

するものである。

B 委員

熱意を持った地元の方に引き受けていただいたのはありがたいことである。事務局もサポートを引き続きお願いしたい。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

## 5 その他

その他 1 教科書採択までの流れについて

【説明】 (教育部長及び参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員

決定となった教科書は、蓮田、幸手、宮代、白岡が同じものを使用することとなるのか。

参事兼教育指導課長 そのとおりである。

C 委員

何年使用するのか。

参事兼教育指導課長 採択された翌年から4年間使用する。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

その他 2 5月の教育委員会諸事業結果報告について

【説明】 (生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員

田んぼの学校は人気の講座と聞いている。どのくらいの応募があったのか。

生涯学習課長

応募人数の資料が手元にないが、15組30名募集した。当日は数名欠席したが、30名程度が参加の予定であった。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

(傍聴人退席)

## 3 委任事務等報告事項 (教育長報告)

第1 区域外就学について

【説明】 (報告第1について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 ~非公開案件につき内容省略~

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

## 第2 就学すべき学校の指定の変更について

【説明】 (報告第2について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

## 5 閉会

横松教育長

以上をもって閉会を宣言する。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議事録署名委員

議事録署名委員